一般社団法人 GOLD 日本委員会

2025 年度 第 1 回通常理事会 議事録

令和 7 年 4 月 22 日 17 時 00 分より、当法人主たる事務所を拠点にした WEB 会議システムにより、第 1 回通常理事会を開催した。

議決権のある理事：16 名

一ノ瀬正和、植木純、木田厚瑞、木村弘、權寧博、佐野裕子、茂松茂人、柴田陽光、杉浦久敏、長瀬隆英、西村正治、長谷川好規、平井豊博、福地義之助、三嶋理晃、室繁郎（五十音順）

出席理事：8 名（下線：欠席者）

出席監事：工藤翔二

事 務 局：大塚

1. 開会宣言

事務局より本日の理事会は定足数に達している旨の報告があり、定款の規定により代表理事 植木純が議長として選任された。議長は、本理事会は適法に成立したので開会する旨を宣言し、直ちに議事に入った。

2. 第 1 号議案　2024 年度事業報告承認の件

議長の指名により、事務局から配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。

▷質問・コメント

室先生：資料 4 ページ目に COPD-PS を無償で配布とあって、ディスカバリーCOPD 研究会提供とあるが、ディスカバリーCOPD 研究会というのはどういう団体ですか？

事務局：九州の先生がやられていた会と記憶しているが、この状態で引き継いでいて詳細をよくわかっていない。

室先生：COPD-PS がホームページからダウンロードできるようになっているが、使用方法のガイドラインもダウンロードできる仕様になっているはずで、ガイドラインによるとあくまでも診療で患者に対して使うときのみ無償で使えるという記載だったと思う。自治体が無作為に配るというのは、患者では無い人にも配っていることにもなりかねないので、ガイドラインに抵触する可能性を危惧します。リンクを参照されるのは自由で良いが、ダウンロードで使われるときにはそれぞれの自治体で、COPS-PS の使用に関するガイドラインを遵守して使ってくださいというようにしておかないと、悪くすると GOLD 日本委員会が著作権を侵害しているというように言われかねないので、気を付けた方が良いと思う。

室先生：啓発活動登録一覧について、これは自発的に自治体が GOLD 日本委員会にやっていますよと言われたものですか？

事務局：ホームページ上で各自治体がイベント登録をできる仕様になっており、内容を確認して公開しているものです。

室先生：啓発活動を日本で活性化しているということを言いたいのであれば、ここに上がっていない自治体レベルの細々とした活動が膨大にあると思うので、そのあたりの仕掛けも考えていかないとと思いました。

室先生：会員ですが、最近サノフィが、デュピルマブで COPD の適応になって、バジェットを回してきているので、サノフィさんにお声がけするとか、そういうことも資金が必要であれば考えても良いのではないかと思う。

植木先生：サノフィには今、本社にアクセスをしてゴールドかシルバーへの賛助を働きかけているところです。

柴田先生：その点に関してクラシエはいかがでしょうか？日本呼吸器学会のランチョンとかにも人参養栄湯のフレイルの薬を出しているので、乗ってくる可能性はあるのではないかと思う。

植木先生：クラシエも私のところに別件でコンタクトがあったので、対応してみます。
また、ゴールドメンバーとの連携プロジェクトなどがあまり企画されていないので、今後、提案していきたい。

工藤先生：資料 6 ページのライトアップについて、自治体の取り組みとライトアップの写真などホームページからもアクセスできるようになると、皆さんがこういうことが広がっているということが分かっていいのではないかと思う。

植木先生：ホームページについては今年度事業になりますが、トピックスの記載を増やしたり、動画のアップなど、ホームページの機能が改善したので、もう少し魅力的なものに工藤先生がおっしゃったことも含めて変えていく予定です。

福地先生：GOLD の活動の実態を周知するために、発足当時は各自治体の健康部門の担当者に年に 1、2 回は必ずこちらから情報を入れて、必要であればその自治体における説明会等を行っていたという歴史がある。最近の各自治体への直接的な事務局からのアプローチというのはどのような状況になっているか？

事務局：各自治体へのご案内としては、COPD サミットのご案内が主になっていて、開催の案内チラシと合わせて全国の自治体宛に送っている。現在自治体向けは COPD サミットの案内のみになっています。

福地先生：HOT40 周年を迎えて、COPD 患者における HOT の重要性というのが非常に重要だと考えているので、そういうことも含めて各自治体への直接的なアプローチができないか、資金面のこともあるが、各委員が分担して自分の関係する自治体に対してアプローチするということも十分できると思うので、せめて関係する自治体だけでも活動の実態を再認識してもらえるように、是非お願いしたい。

メモ ----------

ディスカバリーCOPD 研究会　http://discovery-copd.a-nex.co.jp/about/

ディスカバリーCOPD 研究会設立
―落語家・桂歌丸氏が「肺の生活習慣病」COPD 啓発大使に就任―（CareNet）
https://www.carenet.com/news/general/carenet/12533

---

3. 第２号議案　2024 年度収支計算書承認の件

議長の指名により、事務局から収支計算書について配布資料に基づき報告があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。

▷質問・コメント

西村先生：先ほど賛助会員としてサノフィとクラシエが可能性あるのではという話があったが、賛助会員の時期は決まっているのですか？

事務局：随時入っていただけますが、一応、４月から翌３月までを１年度としていますので、年度初めに各賛助会員宛に継続の依頼をしている。

西村先生：先ほど出た２社は可能性が高いと思うので、手紙を送った後に念押しでこちらからのメッセージがあるといいのかなと思いました。

4. 第３号議案　2025 年度事業計画書承認の件

議長の指名により、事務局から 2025 年度事業計画について配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。

▷コメント

植木先生：ホームページによる情報発信について、現在のコンテンツが従来のホームページの内容を並び替えただけなので、内容を精査して必要なアップデートを行い、さらに英文にして５月中か６月中までに作業を終了させたいと思っている。最新のアップデートした情報もこちらから発信できるように整えていきたい。

工藤先生：コロナでスパイロ、肺機能検査ができない時期が続いて、ようやく今回復してきているので、街頭での肺機能測定とか、あるいは以前、肺年齢測定会みたいなことをテント張って自治体がやっていたので、そういうことをもう一度できたらと良いと思う。

西村先生：確かにコロナの前にはそういった動きが結構あって、北海道の一部の市町村でやったところがあった。何らかの働きかけは必要かなと感じた。

植木先生：去年秋に、港区保健所の講演会で、今後、スパイロ検査も含めてやりませんかと話したところ、まだ時期尚早と考えているようでした。

室先生：　情報提供として、関西で平成 25 年に、当時、吹田市民病院にいた辻先生という先生がスパイロギネス記録を作った。その時の情報を見ると、環境再生保全機構、環境省、GOLD 日本委員会、吹田市医師会の共同作業となっているようです。大きくやるのであれば、環境再生保全機構など経験のある団体にお声がけしてやるというのも方法かと思いました。

福地先生：今の吹田市の話は、私も参加した覚えがある。やはり非常に活発に活動をしておられた先生がいらっしゃるということは、きっかけとして重要だった。これからも自治体レベルで活発にやっている臨床的に、公衆衛生的な視点からやっておられる先生とタイアップするということは非常に同意ですし、環境再生保全機構は、一ノ瀬先生も委員をしておられるので、そういうところからのインプットというのも、また改めて検討するということも必要と思う。

西村先生：COPD サミットのテーマとホームページの両方にからむことだが、ワクチンに関して最近結構質問を受ける。RS ワクチンが新しく使えるようになったり、コロナワクチンをどうするのか、肺炎球菌ワクチンも新しい結合型ワクチンが出てきて、非上に使い方に関して混乱している。情報提供という意味から、講演会で取り上げるのはいかがですか。

ホームページに関しても新しい情報が入っていなければ、その辺是非含めていただいてホー

ムページの改訂を進めていただければと思う。

植木先生：ワクチンを包括的に話せる先生がいるか検討してみます。最近のトピックスとしては能登半島地震に D-MAT がはじめて保健活動を行ったという話題があり、在宅のボンベをプロバイダーの代わりに運んでくれたりとか、福地先生がおっしゃった HOT40 年なので、そういった、COPD と HOT の話なども検討させていただきまして先生方に提案させていただきます。

5. 第 4 号議案　2025 年度収支予算案承認の件

議長の指名により、事務局から 2025 年度収支予算案について配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。

▷コメント

西村先生：COPD では新薬というわけではないが、気管支拡張症でインスメッドとベーリンガーの競争のようにして新しい薬を開発していて、これは気管支拡張症のいわゆる好中球性炎症に対するお薬として出てくる。当然 COPD にも関係するので、声をかけてもいいかなという気がします。ベーリンガーに先行しているのがインスメッドで、今年か来年くらいに新薬を出す予定。今年、呼吸器学会でもあっちこっち挨拶しまわっていた。なので COPD にも関心をもっていただけるかもしれないので、声をかけてみる価値はあるかもしれません。

6. 第 5 号議案　理事選任の件

植木先生より、業務執行理事として新たに 1 名選任したい旨、提案があり、賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。理事候補者は、次のとおり（敬称略）。

○ 佐藤 晋　　京都大学大学院医学研究科 呼吸管理睡眠制御学 特定准教授

※ 6 月の定時社員総会での承認を経て正式に就任となります。

7. 閉会宣言

18 時 10 分、議長により 2025 年度第 1 回通常理事会の議案審議が終了したことが宣言され、閉会した。

2025 年 4 月 22 日

議事録作成者　議長　　代表理事　　植木　　純　　印

監　　事　　工藤　翔二　　印